

# Rotary 茂原中央ロータリークラブ 会報

イマジン  
ロータリー



会長 武田大輔 幹事 飛留間和紀



クラブ創立 1993.1.12  
例会日 毎週火曜日/点鐘 12:30  
例会場 茂原卸団地組合会館  
事務局 TEL 0475-26-1515  
FAX 0475-26-1516

Email [mobarach.rc@gmail.com](mailto:mobarach.rc@gmail.com)  
<http://mobarachuo-rc.com>

- ★ ジェニファー E. ジョーンズ RI 会長
- ★ RID2790 小倉 純夫 ガバナー
- ★ 第7グループ 平野 一隆 ガバナー補佐



第31巻 通巻第1322号 第5号 例会通回第1327回

★クラブ会報委員長 片岡 太 ★副委員長 横堀 喜一郎

## 本日の例会プログラム

令和4年8月2日

(会員増強・新クラブ結成推進月間)

点 鐘 武田 大輔 会長  
ソング 四つのテスト

誕生祝 3名  
(正林会員・林会員・安藤会員)

会長挨拶 武田 大輔 会長  
幹事報告 飛留間和紀 幹事

委員会報告  
ロータリー情報委員会  
「ロータリーの友」勉強会

ニコニコ  
出席報告 担当委員会

また弔辞を読まれた上原会長も来年杉森さんをエレクトにとおっしゃられてまして大変残念だったなと思います。また葬儀の後に空港南の会員の皆さんから大変なおもてなしをしていただいて、杉森会員の人の人柄や人徳もあつてのことだと思います。そして空港南ロータリークラブの仲間の皆さん、大変素晴らしいなと感じました。また謹んでご冥福をお祈りしたいと思います。

本日は平野ガバナー補佐に来ていただいております。皆さん平野さんのことを知っている方も多いと思いますが、私の印象ですと、ロータリーの知識がとても豊富で非常に熱くリーダー的な存在だなと感じております。この後お話の方聞かせていただければと思いますので会長挨拶はこの位にしたいと思います。ありがとうございました。

## 7月26日例会

### 会長挨拶 武田 大輔 会長

皆さん、こんにちは。暑い日が日々続きますが今日はあまりスッキリしない天気ですね。先週会長挨拶でもお話をさせていただきましたが、先週の水曜日20日の日に成田空港南ロータリークラブの杉森会員の葬儀に杉江エレクトと小沢会員、神明会員と行って来ましたが、弔問客の数がとても多く、花輪も駐車場の半分位を占めていて凄くお通夜でした。杉森さんはもともと心臓に持病があったそうで、木曜日の例会には通常に参加されていたようですが、金曜日の日に倒れられ土曜日の日に残念ながら亡くなってしまったそうです。空港南の皆さんから杉森さんのお話をいろいろ伺いましたが、凄く真面目で人柄も良く会員の皆様からもとても愛されてたなと感じました。

### 幹事報告 居村 龍二郎 副幹事(代行)



- 地区(回覧)
- ①ロータリー財団統括委員会より、2022-23年度ロータリー財団セミナー開催のご案内  
日時：2022年9月17日(土) 12時30分  
受付開始 13時点鐘

場所：TKP ガーデンシティ千葉

又はZOOM オンライン 8月26日(金)迄

- ②奉仕プロジェクト統括委員会より、奉仕プロジェクトセミナーのご案内  
日時：2022年8月20日(土) 13時受付開始  
13時30分 開演

場所：TKP ガーデンシティ千葉 8月6日(土)迄

- ③小倉純夫ガバナー事務所より、2022-23年度地区大会のご案内

【大会第1日目】(出席対象者 クラブ会長・幹事 及びガバナー補佐・地区委員長)

日時：2022年10月8日(土)

登録開始12時30分 点鐘13時

場所：ホテル ザ・マンハッタン

※RI 会長代理歓迎晩餐会

登録開始16時30分 開会16時45分

【大会第2日目】

日時：2022年10月9日(日)

登録開始8時30分 点鐘9時30分

会場：アパホテル&リゾート東京ベイ幕張

ホール 8月31日(水)迄

- ④地区補助金プロジェクト委員会より、地区補助金開始時期についてのお願い
- ⑤松戸ロータリークラブより、メールアドレス変更のお知らせ
- ⑥袖ヶ浦ロータリークラブより、例会場変更のお知らせ
- ⑦ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会より、風の便り Vol.7 No12 (通刊94号)
- ⑧小倉純夫ガバナー事務所より、活動計画書・会報の御礼
- ⑨「コーディネーターニュース」2022年8月号
- 例会案内(回覧)  
特になし
- 会報受信(回覧)  
特になし
- その他(回覧)
  - ・社会福祉法人 長生共楽園より、暑中見舞いの葉書
  - ・「ダメ・ゼッタイ」皆さまの浄財は7月20日に所定の振込用紙より送金いたしました。ご協力ありがとうございました。

グループ内で最速でございまして、素晴らしいなあ早いなあと感心したところでございます。本日に当たり、いただいてからじっくりですが見てきました。内容的にも素晴らしいものができていて、こうして例会におじゃましてもしっかりと例会を開催されているなどというふうに改めて感じました。

この活動計画書を見てみましたところ比較的会員歴の浅い方もおられ、2010年代に入られた会員さん、特に17年18年くらいの4、5年ですか、そういう会員さんが多くおられるクラブで、もうここにいても活気と言いますかなんと熱を感じるクラブであろうかというふうに改めて思っています。

ガバナー補佐として年間4回各クラブをおじゃまなささいという使命を与えられている中で、7月の第1週理事会を開催されるであろう例会を除いて、第2週からグループ内8クラブのうち自クラブはまだですけども7クラブを回らせていただいた中で最後になってしまいました。

それはクラブの創立順と曜日の関係でどうしても茂原中央さんが最後になってしまったわけですけども、反対にグルッと全部のクラブを回った最後にこちらにおじゃまできて良かったなというふうに思っています。それぞれのクラブに特徴がありますし、それぞれのクラブの例会の雰囲気が皆さん違います。

これから一年をまたガバナー公式訪問、その前におじゃまする時間を使わせていただきながら、各クラブがどうあるべきか、それぞれのクラブでお考えのこととは思いますが、何かお役に立つことがあるのかなとそんなことを考えながら一年間を務めさせていただこうと思います。

その中で、一番私が重きをおきたいお話がございまして。これは会長幹事さんにももうすでにお伝えしてありますけれども、前年度梶原ガバナーは過去の慣例とは違った観点からガバナー補佐を選出されました。そしてそれは同時にグループ再編、地区内のグループ再編をも平行して考えられているものでございました。結果的にはグループ再編は行われずガバナー補佐の選任に関しても今年度は従前どおり小倉ガバナーは輪番制を基本的に考えられ結果的に私がガバナー補佐をさせていただくことということになりました。しかし、地区内の他グループでは今もまだ後遺症のものが残されているように聞いていまして、すんなりとガバナー補佐選出にいたらないグループもあるように聞いています。詳しくは知りませんが、いずれ次年度のガバナー補佐選出に当たっての何処かで発表があると思います。

それを受け小倉ガバナーは「地区とクラブ

## ガバナー補佐 クラブ訪問「ご挨拶」



国際ロータリー第2790地区  
2022-2023年度  
第7グループ ガバナー補佐  
平野 一隆 様

皆さん、こんにちは。22-23年度第7グループガバナー補佐を仰せつかりました大原ロータリークラブの平野でございます。一年間どうぞよろしくお願いいたします。ガバナー補佐をお受けするに当たって所信表明的なことを7月号の月信に掲載させていただいたところでございます。いま一度お読みいただければと思います。

先週末に当グループの会長幹事会が開催され、そこに出席をさせていただきました。その際、早速こちらのクラブ活動計画書を頂戴いたしました。

の意思疎通が図られないことによる意識の乖離、これが問題であろう。ガバナーとして最重要課題としてそこを改善していきたい。」と当初から仰っていました。

私は前年度のその地区の混乱とも言える状況の中で、改めてこの第7グループの歴史、グループ再編とかも考えられていましたのでこの第7グループの歴史や慣習、いわゆるグループ独自の文化といったものに対して考えを思い巡らすようになりました。その中で輪番制とは言え大原ロータリークラブの順番だよということで私がクラブから推薦されガバナー補佐を仰せつかるに当たり、「私としては何ができるのだろう。何をすべきであろう。」と考えておりましたが、最終的に私はグループ内の各クラブの意向意見そしてロータリアン一人一人のロータリーに対するまたは地区に対するご意見をきちんとした形で地区やガバナー、地区のいわゆる執行部、リーダー的な方々にお伝えすることが最も大事なのではないかというふうに考えて一年間をスタートしました。

ガバナーや地区からは地区研修協議会もしくはガバナー月信またはガバナー公式訪問等々たくさんのツールを持ってガバナーや地区の意向は皆様にお伝えする手段があります。しかし1クラブや1ロータリアンはなかなかその手段が簡単ではないと思います。クラブからまたは個人からガバナー事務所へメールもできます。ガバナーへ直接電話もできます。でもそれはなかなか勇気のいることであり、いろんな波紋が広がるのではないかというように心配が先に立ちます。しかし私がそのクッション材となり皆様の意見を、時には上手に発信地が分からないように上にお伝えすること。よろしければ皆様のクラブまたは個人の名前できちっと上にお伝えすることも可能だと思えます。そういうことを考えながら一年間あと4度ほどおじゃまする予定にしています。皆さんも私がそういう考えでおじゃましていくことを十分ご認識いただきまして何なりとお申し付けくだされば私の一番大切に思う役目が果たしていけるのではないかというふうに考えていますのでどうぞ遠慮なくいろんなお話をさせていただくことを切に希望します。

この次におじゃまするのはガバナー公式訪問前のガバナー補佐クラブの調査と言いますか実情をいろいろお聞かせいただいてその状況をガバナーに報告する制度になっています。その為にここではなくもうちょっと膝を詰めた形のクラブ協議会というような形をできれば取っていただいて実際のクラブの状況や問題点をお聞かせいただければというふうに考えていますので次回もよろしくお願いしたいと思います。

話が纏まりませんが何とか私の思いが伝わったのではないかというふうに思わせていただきまして年頭のご挨拶とさせていただきます。一年間よろしくお願いいたします。



ニコニコ

第7グループ ガバナー補佐

平野一隆 様 … 一年間よろしくお願い致します。

ビジター

浅野 吉朗 ガバナー補佐幹事  
(大原 RC)

#### 出席報告

例会日	会員	出席	MU	欠席	免除	出席率%
7/26	27	16	1	10	1	65.38
7/12	27	16	3	8	3	79.16

#### 8月行事予定

8/02(火)	理事会 11時30分・移動例会「竹りん」 誕生祝3名(正林会員・林会員・安藤会員) ロータリーの友勉強会
8/09(火)	通常例会
8/16(火)	休会(定款適用)
8/23(火)	通常例会 外部卓話: 茂原市長 田中豊彦 様
8/30(火)	夜間移動例会

※コロナ感染防止対策として  
例会 点鐘 12時30分3分  
閉会 13時  
お弁当のお持ち帰りいたします。

ご案内  
ゴルフコンペ

日程: 8月30日(火)

場所: 万木城カントリークラブ

5組20名の予定で組んでおります。

夜間の移動例会の場所は場所は検討中ですので決まり次第ご案内します。





ガバナー補佐紹介

第 7 グループ ガバナー補佐 平野 一隆 (大原 RC)



**ご挨拶**  
 ガバナー補佐の在り方がより問われている昨今の状況下での拜命は、大きなプレッシャーを感じております。2021-22年度のガバナー補佐選出の際、グループ再編案と共に地区内では多くの場面でDLPを基にした考え方が語り合われました。小倉ガバナーは、PETSにおいて「地区とクラブ・会員間での十分な意見の疎通が図れなかったことによる「すれ違い」」「地区とクラブ・会員間との信頼関係の再構築がガバナーに課せられた最大の任務である」と仰っています。  
 このことを受け、私はガバナー補佐に与えられた数々のミッションの遂行に向け努力すると共に、忘れてならないのは、①発信されたガバナーの意向について細かなニュアンスを含めた説明、②地区に対する意見の可能な限りの吸い上げ、③ガバナーへの報告、であろうと考えています。第7グループの各クラブ・ロータリアンが信頼関係で結ばれ、誇りを持ってロータリー活動を行う手助けができるよう精一杯務めさせていただく所存です。1年間よろしくお願いたします。

有効なニコニコボックスの活用

例会場には、ニコニコボックスあるいは、スマイルボックスと呼ばれる受付が設けられている場合があります。これは、会員の喜び事、祝い事あるいは、ちょっとしたしくじりなど、出来事や近況披露、お礼や感情表現など様々な理由付けの活用方法で、会員が自発的に拠金をするもので、別に何の規定も文献もあるわけではありません。要するに、ニコニコ箱の名が示す通り拠金する会員もニコニコしながら拠出し、集まったお金は、クラブの奉仕活動などに使用します。金額については、善意のお金ですからいくらでも良いのですが、だいたい1,000円単位のところが多いようです。喜びの大きいときは相当多額のニコニコもあります。多くのひとからいろいろの理由で何回も拠金してもらうのが、ニコニコボックス本来の姿といえましょう。

●●●ニコニコ箱について●●●

まず、ニコニコ箱というのは、ロータリーでは、世界的な慣例ではありません、日本にはありますが、世界中どこの国にもあるというものではないのであります。

アメリカを始め諸外国にはニコニコ箱に類するものとして Fine Box と Chest Box があります。Fine Box は罰金箱で、欠席、早退とかのペナルティを集める制度であり、Chest Box は目的を定めた募金箱ですから、目的を定めずに募金をする日本のニコニコ箱とは若干違います。

奉仕活動をするための資金集めは、会員の理解を得た上で目的を定めて、その目的のために帽子を回すのが諸外国のやり方のようです。

日本では、ニコニコ箱の慣例が出来たのは、昭和 10 年のこととあります。関東大震災の被災孤児達を東京ロータリーホームという孤児院で世話をしたいましたが、東京ロータリー・クラブの人達が、昭和 10 年に当時オープンした多摩川園という遊園地に孤児達をつれて行ってやろうということになりました。

ところが、さてその金はどうしようかということになりました。クラブの会員達は、お金持ちであります。クラブ自体には金はありません。

そこで、日本橋の羅紗問屋 上村伝助商店の筆頭番頭であった関幸重という人が一計を案じ、あり合わせのボール箱をもって、『あなたの誕生日ですよ』とか『お嬢さんが結婚されたでしょう』とか色々なことを軽妙洒脱に面白く話しながら、例会場を回ったのであります。会員達が皆笑いながら財布の紐を解いたと言います。

当時、大学卒の初任給が 60 円くらいの時代に 600 円の金が集まったといえますから、流石は東京ロータリー・クラブであります。これで孤児達を多摩川園に連れて行くことが出来たのであります。

それからは、関さんが、何かことあるごとにその箱を持って回ったのでありますが、あまり汚い箱では具合が悪いだろう、皆がニコニコして金を出してくれるからということで、三越に注文して、えびす様の顔を彫った箱を拵えました。これがニコニコ箱の起りです。

いずれにしても、戦前のロータリアン達は、金を集めるにしても色々考えてユーモラスにやっただけであります。今日のロータリーには、このユーモアがやや乏しいとも思われるのであります。

なお、東京ロータリー・クラブのこの慣例に対して、大阪ロータリー・クラブは昭和 5 年ですから東京よりも早いという説があります。

しかし、大阪ロータリー・クラブの場合は、遅刻等の時に SAA がなにがしかの金銭を強制的に取り立てる罰金箱であって、ニコニコ箱とはその趣旨が異なるのであります。

ニコニコ箱は、あくまでも、何か喜び事があったときに、会員達がそれを記念して、社会奉仕の浄財をクラブに寄託するものであって、罰金箱のように人を責める形で金を集めるものではありません。  
 <伊丹 RC ホームページ 純ちゃんのコーナー (深川純一 PDG RID2680) より>